

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

事業名 （空港・港湾アクセス道路） 一般県道 <small>いとほるきつき</small> 糸原杵築線 <small>おおいたくこうどうろ</small> 大分空港道路工区	事業 地方道 区分	事業 大分県 主体
起終点 自：大分県杵築市相原 至：大分県国東市安岐町大添		延長 2.66km
事業概要 大分空港道路は、大分空港へのアクセス道路として、九州横断自動車道等と併せて広域ネットワークを形成するとともに、災害時は緊急輸送道路の役割を担う路線であるが、ほとんどの区間が暫定2車線である。4車線区間を延伸して追越車線と中央分離帯を整備することにより、大分空港への定時性の向上や交通事故の軽減、災害時の道路機能強化等を図るものである。		
H28年度事業化	都市計画決定 なし	用地着手 なし
全体事業費 約29億円		事業進捗率 約77%
計画交通量 11,200~12,800台/日		供用済延長 — km
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.04 (残事業) 4.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 7/28億円 (事業費：6/27億円 維持管理費：0.8/0.8億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 29/29億円 (走行時間短縮便益：28/28億円 走行経費減少便益：-1.2/-1.2億円 交通事故減少便益：3.1/3.1億円)
基準年 平成30年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%) 事業費 : B/C= — (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)		
(残事業) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%) 事業費 : B/C= — (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)		
事業の効果等 ・低速車の追い越しが容易となって旅行速度が向上し、大分空港への定時性を確保 ・災害発生時においても信頼性の高い道路として機能を発揮 ・維持工事などの夜間通行止め等交通規制が減少し、利便性が向上 ・中央分離帯に剛性の高い防護柵を設置することで、正面衝突などの重大事故を低減 ・広域ネットワークの整備により産業・観光等県の発展を支援		
関係する地方公共団体等の意見 ・国東市、杵築市から早期開通に向けた事業促進を要望されている		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 —		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率約77%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成31年度中の完成に向けて工事等の事業進捗を図る		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

